



南っ子

第6号 令和5年10月31日 発行

田村市船引町堀越字丸森2

☎ 85-2008 FAX 76-1790

発行責任者：鈴木 敏夫



会津の歴史を学ぶ（6年生）～県立博物館前にて～

修学旅行 充実した2日間になりました

10月3日（火）～4日（水）、6年生全員で1泊2日の会津若松方面への修学旅行に行ってきました。初日は、野口英世記念館や鶴ヶ城、県立博物館、会津武家屋敷を見学し、特に会津の歴史を学びました。2日目は、宿泊した東山温泉から出発して、飯盛山と白虎隊記念館を見学しました。その後は各班の計画によって活動しました。1日フリーパスのバス乗車券を片手に赤べこの絵付けやグラスの絵彫りなどをしたり、カフェやレストランでお好みの食事をしたり、お土産を購入したりしました。班行動でしたので、話し合いや協力、そして時には妥協もしながらのフィールドワークとなりましたが、どの班も充実した活動になったようです。さすが6年生です。準備等のご協力をいただきました保護者の皆様に感謝申し上げます。

11月の主な行事予定

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1日（水）ALT・図書支来校日 | 20日（月）13:00 下校（職員研修のため） |
| 2日（木）12:40 下校（職員研修のため） | 21日（火）ALT 来校日/幼年消防クラブのつどい/
5・6年歯科保健教室/教育相談① |
| 3日（金）祝 文化の日 | 22日（水）ALT 来校日/3年校外学習（郡山消防署）/
5年オンライン見学（FCT）/教育相談② |
| 4日（土）秋のコンサート（合唱部出演） | 23日（木）祝 勤労感謝の日 |
| 7日（火）ALT 来校日/クラブ | 24日（金）図書支援・ICT 支援来校日/
収穫・感謝祭/教育相談③ |
| 8日（水）ALT・図書支来校日/プレ発表会 | 27日（月）教育相談④ |
| 10日（金）ICT 支援員来校日 | 28日（火）ALT 来校日/幼学校支援おはなし会 |
| 11日（土）みなみっ子発表会 | 29日（水）ALT 来校日/5年森林環境学習/教育相談⑤ |
| 12日（日）県PTA 研究大会二本松大会 | 30日（木）2年校外学習（郡山駅・ビッグアイ）/
小中一貫教育体験教室1日目 |
| 13日（月）繰替休業日 | |
| 14日（火）幼 ALT 来校日 | |
| 15日（水）ALT・図書支来校日/草花栽培活動
幼人形劇鑑賞会 | |
| 17日（金）職員会議 | |



幼小中一貫教育保育参観

10月19日(木)、保育参観を行いました。本園は小学校に併設されていますので、日常的に幼小の連携はしていますが、今回は特に、幼稚園と小学校のつながりをどのようにするかを考えながらの参観となりました。また、当日は、船引南中学校の先生方にも参観していただきました。多くの方々に参観されながらも園児たちは、いつものように、楽しく転がしドッジボールをしました。子どもたちの様子はもちろんですが、保育士の園児へのかかわり方からも学ぶことが多かったです。



グレートレッスン(陸上)

10月16日(月)と23日(月)の2回に渡り、下重庄三先生に講師としてお越しいただき、陸上のグレートレッスンを行いました。参加した3～6年生は基礎的な動きや走り方を中心に、的確で分かりやすい指導を受けることができました。マラソン大会に向けての効率的な走りについても学ぶことができました。



みなみっ子の活躍紹介

- 第68回たなばた展
奨励賞 3年 HH
特選 1年 OY
2年 SY
3年 OS
6年 SM
- 田村市少年の主張大会
優秀賞 6年 SY
- 田村地区音楽祭
奨励賞 本校合唱部
- 下水道ポスターコンクール
田村市長賞
6年 SM
大滝根水環境センター所長賞
2年 SY
4年 SY
- 第12回田村市発明工夫展
奨励賞 3年 MK
3年 YK
4年 YS
- 田村地区理科作品展
特選 1年 MT
1年 YH
3年 YY
5年 KK
5年 YY
準特選 3年 OS
3年 KS
3年 SN
3年 MR
- 「火災予防・住宅用火災警報機」・
絵画・ポスター、標語コンクール
・絵画・ポスター住宅用火災警報器
部門
優秀賞 3年 OS
・防火標語火災予防部門
優秀賞 1年 MT
・防火標語住宅用火災警報部門
優秀賞 6年 YN
・火災予防部門
優良賞 3年 SJ
- 第69回読書感想文福島県
コンクール
特選 4年 YS
- 田村地区交通安全ポスター
コンクール
優秀賞 1年 YH
- 第36回国際平和ポスター
コンテスト
市教育長賞 6年 KT
- 第19回「小学生の税に関する
標語」
優秀賞 5年 KA
郡山税務署長賞
6年 KR



〈つばやき〉～子育ての経験から～

親として自分の子は、他人から見ても「よい子」であることを願うのは、あたり前です。ところが、それが思うようにいかないと、大きな不安になり、どうしても「叱らずにはいられない」という状態に陥ってしまいます。「みんなと同じ」でなければ他人から「よい子」と見てもらえず、「だめな親」と評価されるのではないかと心配し、叱ってしまうということが起きてしまいます。例えば、休み明けの登校日に、お母さんからスムーズに離れられず、ぐずぐず泣くということが続くと、他の子のようにどうして「ふつうに」できないのだろうと我が子に対して、怒りの気持ちが湧いてきてしまいます。

「みんなと同じ」や「ふつう」についての認識は、多くの場合、私たち親の世代が自分の親からできてあたり前と求められ、必死にがんばってきたことです。他人から見ても「よい子」であるということは、親自身も他人から見ても、「よい親」だと見られることと直結しています。つまり、子育ての身近なお手本は、親である自分自身が受けた子育てになります。思い出せば、よかった事ばかりでなく辛かったこともありました。辛かったことは、繰り返す必要はないと思います。この循環を断ち切るためには、相談などをとおして自分の家系にはない新しい情報を取り入れることも大事かと考えますが、いかがでしょうか？